臨床調査個人票

	新規	更新
_		

069 後縦靱帯骨化症

■ 行政記載欄				
受給者番号		判定結果	認定	□ 不認定
■ 基本情報				
姓 (かな)		名 (かな)		
姓 (漢字)		名(漢字)		
郵便番号				
住所				
生年月日	西暦 年	月	Image: section of the sec	*以降、数字は右詰めで 記入
性別	□ 1. 男 □ 2. 5	女		
出生市区町村				
出生時氏名	姓 (かな)		名 (かな)	
(変更のある場合)	姓 (漢字)		名(漢字)	
	□ 1. あり	2.なし		3. 不明
	発症者続柄			
	□ 1.父 □ 2. f		□ 3.子	□ 4. 同胞(男性)
家族歴	□ 5. 同胞(女性)	□ 6. 祖父(2	父方) [7. 祖母(父方)
<i>水</i> 加大压	□ 8. 祖父(母方)	□ 9. 祖母(†	录方) [10.いとこ
	□ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入			
	続柄			
発症年月	西暦 年	月		

社会保障				
介護認定	□ 1. 要介護	□ 2. 要习	で援 [] 3.なし
要介護度	1] 2	3 4	5
生活状況				
移動の程度	□ 1.歩き回るのに	問題はない	2. いくらか	問題がある
	□ 3.寝たきりであ	る		
身の回りの管理	□ 1. 洗面や着替え	に問題はない	2. いくらか	問題がある
24 4 12 3 4 12 12	□ 3. 自分でできな	\ \		
ふだんの活動	□ 1. 問題はない		□ 2. いくらか	問題がある
35-7C70 (2)[L]35]	□ 3.行うことがで	きない		
痛み/不快感	□ 1.ない	□ 2. 中程	建度ある [] 3.ひどい
不安/ふさぎ込み	□ 1. 問題はない		2. 中程度	
1.8/ 21C C C C	□ 3. ひどく不安あ	るいはふさぎ込ん	でいる	
■ 診断基準に関する事項 A. 臨床所見				
① 自覚症状・身体所見				
1. 四肢・躯幹のしびれ、痛み、感覚障害		□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明
2. 四肢・躯幹の運動	2. 四肢・躯幹の運動障害		□ 2.なし	□ 3. 不明
3. 膀胱直腸障害		□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明
4. 脊柱の可動域制限	Į	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明
5. 四肢の腱反射異常	÷	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明
6. 四肢の病的反射		□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明
② 生活機能障害度				
□ 1. 日常生活、通院にほとんど介助を要しない □ 2. 日常生活、通院に部分介助を要する				
□ 3. 日常生活に全面的な介助を要し、独力では歩行起立不能				

B. 検査所見 *小数点も1文字として記入する

① 画像所見				
	□ 1.該当	□ 2. 非該当		
	検査年月日	西暦	年 月	Ħ
	77.E.L.U.	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
1. 単純X線写真: 脊柱靱帯骨化巣	頸椎	認められた靱帯骨化	□ 1. 後縦靱帯	□ 2. 黄色靱帯
(後縦靱帯骨化又は 黄色靱帯骨化) がみられる	胸椎	□ 1.あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		認められた靱帯骨化	□ 1. 後縦靱帯	□ 2. 黄色靱帯
	腰椎	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
		認められた靱帯骨化	□ 1. 後縦靱帯	□ 2. 黄色靱帯
	□ 1.該当	□ 2. 非該当		
	検査年月日	西暦	年 月	Image: section of the content of the
	頸椎	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
2. CT: 脊柱管内に		認められた靱帯骨化	□ 1. 後縦靱帯	□ 2. 黄色靱帯
靱帯骨化がみられる	n/	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
	ዀ挫			
	胸椎	認められた靱帯骨化	□ 1. 後縦靱帯	□ 2. 黄色靱帯
	胸椎	認められた靱帯骨化 1. あり	□ 1. 後縦靱帯	□ 2. 黄色靱帯 □ 3. 未撮影

	□ 1.該当	□ 2. 非該当		
	検査年月日	西暦	年 月	□ □ □
	頸椎	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
	現性	認められた靱帯骨化	□ 1. 後縦靱帯	□ 2. 黄色靱帯
3. MRI: 靱帯骨化巣 による脊髄圧迫が なられる		□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
みられる	胸椎 	認められた靭帯骨化	□ 1. 後縦靱帯	□ 2. 黄色靱帯
	Trans I II	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
	腰椎	認められた靱帯骨化	□ 1. 後縦靱帯	2. 黄色靱帯
	脊髄圧迫	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 未撮影
血液・生化学検査所見の	異常	□ 1. あり	□ 2.なし	
C. 鑑別診断 (新規)		L		
以下の疾病を鑑別し、全 除外できた疾病には ▽ を		□ 1.全て除外可	□ 2. 除外不可	□ 3. 不明
□ 1. 強直性脊椎炎 □ 2. 変形性脊椎症				骨増殖症
□ 4. 脊柱管狭窄症 □ 5. 椎間板ヘルニア			□ 6. 脊柱奇形	
□ 7. 脊椎・脊髄腫瘍 □ 8. 運動ニューロン疾患			□ 9. 痙性脊髄麻疹	車(家族性痙性対麻痺)
□ 10. 多発ニューロパチー □ 11. 脊髄炎			□ 12. 末梢神経障	害
□ 13. 筋疾患 □ 14. 脊髄小脳変性症			□ 15. 脳血管障害	
□ 16. その他				
<診断のカテゴリー>				
Definite: B-①に加え、A-①の所見が認められ、 それが靭帯骨化と因果関係がある			□ 1.該当	2. 非該当
症状の概要、経過、特記すべき事項など *250 文字以内かつ7行以内				

■ 治療その他

今まで手術した	.部位						
頸椎前方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
頸椎後方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
胸椎前方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
胸椎後方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
腰椎前方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
腰椎後方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
今後手術予定の	部位						
頸椎前方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
頸椎後方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
胸椎前方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
胸椎後方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
腰椎前方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
腰椎後方	□ 1. あり	□ 2.なし	時期	西暦		年	月
	■ 重症度分類に関する事項						
靱帯骨化による	運動機能障害						
画像所見で後	画像所見で後縦靱帯骨化または黄色靱帯骨化が証明される						
それが神経障害の原因となって、日常生活上支障となる 著しい運動機能障害を伴う							
機能評価							
評価年月日	西暦		年		月 日		
□ 頸髄症:I 上肢運動機能、II 下肢運動機能のいずれかが 2 点以下							
□ 頸髄症:I、II の合計点が6点または7点であっても手術治療を行う場合							
■ 胸髄症あるいは腰髄症:II 下肢運動の評価項目が2点以下							
□ 胸髄症あるいは腰髄症: II が 3 点でも手術治療を行う場合							
□ いずれにも該当しない							

	□ 0. 筆	・ 著又はスプーンのいずれを用いても自力では食事をすることができない。			
	□ 1. スプーンを用いて自力で食事ができるが、箸ではできない。				
I 上肢運動機能	□ 2. 不自由ではあるが、箸を用いて食事ができる。				
	□ 3. 箸	□ 3. 箸を用いて日常食事をしているが、ぎこちない。			
	4. II	E常			
	□ 0. 涉	気行できない。			
	□ 1. 习	平地でも杖又は支持を必要とする。			
II 下肢運動機能	□ 2. 平地では杖又は支持を必要としないが、階段ではこれらを要する。				
	□ 3. 习	□ 3. 平地・階段ともに杖又は支持を必要としないが、ぎこちない。			
	□ 4. 正常				
		□ 1. 明白な知覚障害がある。			
	上肢	□ 2. 軽度の知覚障害又はしびれ感がある。			
		□ 3. 正常			
		□ 1. 明白な知覚障害がある。			
知覚	下肢	□ 2. 軽度の知覚障害又はしびれ感がある。			
		□ 3. 正常			
		□ 1. 明白な知覚障害がある。			
	躯幹	□ 2. 軽度の知覚障害又はしびれ感がある。			
		□ 3. 正常			
	□ 0. 房	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
H菜 B.V.	□ 1. 彥	高度の排尿困難(残尿感、努嘖、淋瀝)			
膀胱	□ 2. 軽	圣度の排尿困難(頻尿、開始遅延)			
	□ 3. 正常				

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	□ 1. あり					
開始時期	西暦 日 月					
離脱の見込み	□ 1. あり	2. なし				
種類	□ 1. 気管切開孔を介した人工呼吸器					
	□ 2. 鼻マスク又は顔マス	くっを介した人工呼吸器	뭄			
施行状況	□ 1. 間欠的施行	□ 2. 夜間に継続的	に施行			
カビ 1 かんわじ	□ 3. 一日中施行	□ 4. 現在は未施行				
	食事	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助			
	 車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助			
	中旬 1 と・・ソ い町の77多動	□ 部分介助	□ 全介助			
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能			
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助			
生活状況	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能			
土伯扒儿	歩行	□ 自立	□ 軽度介助			
	<i>≫</i> (1)	□ 部分介助	□ 全介助			
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助 □ 不能			
	着替え	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助			
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助			
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助			

医療機関名	
指定医番号	
医療機関所在地	
電話番号	*ハイフンを除き、左詰めで記入
医師の氏名	印
	※自筆または押印のこと
記載年月日	西暦 日 月 日

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても 差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近6か月間で最も悪い 状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12 日健発 1112 第 1 号健康局長通知) を参照の上、 ご記入ください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。